



遠藤守レポート

都議会公明党: 新宿区西新宿 2-8-1 TEL: 5320-7250 / FAX: 5388-1787 <http://endomamoru.com> お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

定例
都議会

震災、放射能対策などで論戦

知事表明、羽田跡地も「特区」に

第3回定例都議会が9月21日から開催されました。

初日の所信表明で石原知事は、都内への外資系企業の誘致促進のため、都心部等を、国の「国際戦略総合特区」として申請する考えを示しました。対象地域には、丸の内・大手町・新宿・お台場などに加え、羽田空港跡地も盛り込まれました。特区認定されれば、規制緩和や税制優遇、財政支援など国の幅広い支援が得られ、国際競争力が強化されます。



羽田空港周辺の跡地。「世界の玄関」がこの状態では…

一方、放射線対策について知事は、第一義的な責任を負う国に対し、①統一的な安全基準の設定②国を挙げた検査体制の確立③最終的な処分方法の確立——の“三位一体”の対策を早急に講じるよう求めました。

都議会公明党、代表質問で新提案

9月28日の各党代表質問で、都議会公明党は首都直下地震への備え、放射線対策などを都に質しました。以下、主な論点です。

☞「いざ」という時は、まず避難・誘導

先の大震災では、避難の仕方が生死を分けた事例がありました。首都圏に大災害が起これば、膨大な避難者が予想されることから、都議会公明党は「避難誘導対策の検討組織を設置し、総合的に検討すべき」と訴えました。都は「東京都防災会議に区市町村、防災機関、学識経験などからなる検討組織を設置し、大災害や大規模水害を想定した総合的な避難対策を検討していく」と表明しました。

☞せっかくだから、「船着場」を活用せよ！

大災害時には、避難経路となる道路が寸断される恐れがあることから、都議会公明党は、現在は物資輸送の拠点としてのみ位置付けられている「防災船着場」を、避難住民や傷病者の避難誘導ルートにも位置付けるべきと提案しました。都は「区との調整を十分に図りつつ、避難経路としての活用方策について検討していく」と答弁しました。



隅田川にある防災船着場
(都建設局提供)

☞「都内でも被ばく医療を」に応えよ！

都議会公明党は、都民不安の払しょくのため、「放射線汚染の検査や除染、診療を行え

【裏面につづく】